

2021年度文部科学省 EDU-Port ニッポン事業  
「香川大学衛生教育および学校保健室体制モデルの進展事業」  
オンライン研修実施

本事業の初年度は、カンボジアにおける学校健診データ管理システムの整備にあたり、香川大学創造工学部でシステムを構築し、また、カンボジア学校保健教育研究者の育成のために、行政職員や大学教員に対してオンライン研修を実施した。

<実施内容>

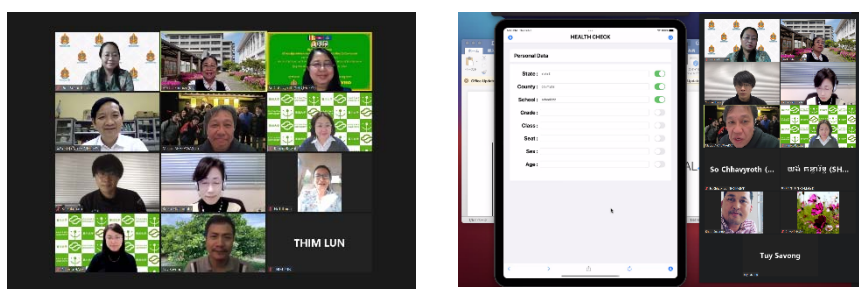
1. カンボジア教育青年スポーツ省のニーズに基づき、カンボジア政府が一元的に学校保健データを管理するシステムの提案

i) Google クラウド上にデータベースを有する「カンボジア学校健診データ管理システム」のアプリケーション 1 件、使用マニュアル英語版 1 件(57 ページ)、日本語版 1 件(57 ページ)が開発された。カンボジア全土の小学生 260 万人分の管理をカバーできる予定である。



健診データ管理システムのアプリケーション使用マニュアル(左 英語版;右 日本語版)

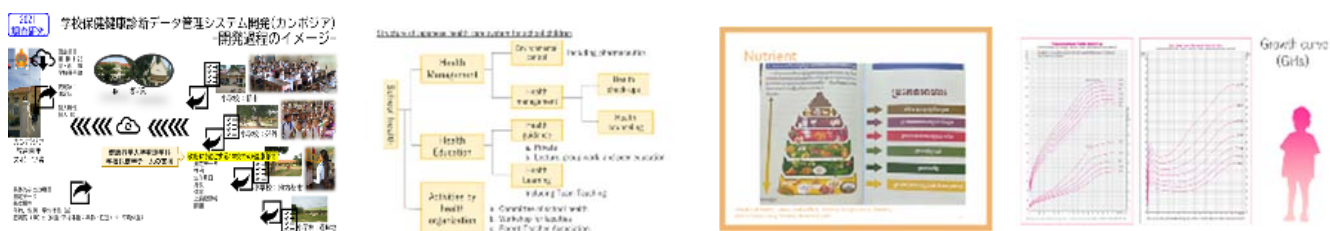
ii) カンボジア学校健診データ管理システムのアプリケーションの使用手順をオンライン上のテスト画面でカンボジア政府に説明し、理解を得た。開発への謝意と今後もできるだけ協力する旨の発言を得た。学校健診データ管理システムのアプリケーションの使用手引きは、英語版を作成したが、現時点でクメール語版は整っていない。次年度クメール語版に翻訳を行い、カンボジア政府から、州・郡の関係者に配布する予定である。



2022年2月3日カンボジア教育青年スポーツ省とのオンラインミーティングでの  
アプリケーションの実施手順の説明

2. 学校保健教育研究者の育成のために、行政職員や大学教員に対して研修を実施

i) カンボジア健康科学大学(UHS)学長の指名したプロジェクト担当看護教員 5 名が、ビデオ教材「香川大学のカンボジアでの学校保健事業と本事業のガイダンス」、「学校保健と健康診断」、「家庭での健康管理の必要性」及び「日本の就学前検診と発育曲線」を用いたオンデマンド研修 4 回受講とオンラインミーティングにより、学校健康診断の知識を深め、測定技法を学習した。参加者の感想では、ビデオ教材は大変有用であること、引き続き学校保健分野を公衆衛生看護学分野に位置づけて学びたいことなどの評価があり、学校保健分野の構築に見通しをもつことができた。次年度の5月以降、カンボジア政府に選定されたモデル校(チャクトムック小学校)での身体測定について参加の同意をえた。



4種のオンデマンドビデオ教材

研修①健診データ管理システムイメージ

研修②身体計測方法

研修③家庭における栄養管理

研修④就学前の健康診断



UHS 看護教員とのオンラインミーティング

ii) 学校保健ビデオ教材の内容を英語・クメール語による「保健マニュアル」として製本・発刊した。カンボジア教育青年スポーツ省へ 80 部、カンボジア健康科学大学へ 190 部を送付した。



3. 日本の地方の学校での学校健康診断のビデオ製作とエクスポート

愛媛県の中山間地域にある約 70 名の児童が在籍する学校での内科健診の様子を写真と動画で撮影し、ビデオを制作した。ナレーションはクメール語、字幕は英語で説明された。このビデオは、カンボジア教育青年スポーツ省学校保健局に無償譲渡され、カンボジアの学校保健室体制整備の研修の中で、ガイダンス用資料として用いられる予定である。